

# バチカン図書館 所蔵マレガ文書の 保存と修復

## —技術の交流と創発—

主催：バチカン図書館・人間文化研究機構（国文学研究資料館）

共催：大分県教育委員会・東京大学史料編纂所

公益財団法人トヨタ財団研究助成「被災アーカイブズの新たな  
保存技術発信へのアプローチ」（代表 青木睦）



## 2016年10月5日・6日

日本の人間文化研究機構（実行機関国文学研究資料館）とバチカン図書館は、2013年から同館所蔵のマリオ・マレガ神父収集文書調査のためのプロジェクトを開始した。対象とする日本切支丹禁制関係の本文書群は、欧州はもちろん日本においても他に類を見ない質量の文書群でその学術的な価値は極めて高い。今回のワークショップでは、日本・バチカンに協働による保存修復の取り組みを、共同でイタリア・欧州の保存・修復関係者へ伝えると同時に、欧州での資料管理の現状と課題なども念頭に、この分野での新たなイノベーションと相互的な創発を目的とする。

事前申込

参加条件：とくに欧州において保存修復を専門とする方

定員：10月5日（40名）、10月6日（16名）

締切：2016年8月16日

申込先：バチカン図書館HPより申請してください。

<https://www.vatlib.it/home.php?&ling=eng>

問合せ先：国文学研究資料館 ohtomo\_team@yahoo.co.jp

人間文化研究機構基幹研究プロジェクト日本関連在外資料調査研究・活用「バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書調査研究・保存・活用」班（代表 大友一雄）



# PROGRAM

---

## 2016年10月5日(水) 講演

会場:バチカン図書館情報学々校 (Via della Conciliazione 1, Roma)

使用言語:イタリア語、日本語 (英語資料も配布)

- 8:30 開催挨拶 バチカン図書館尚書長 ジャン=ルイ・ブルーゲス  
人間文化研究機構理事 佐藤 洋一郎  
駐バチカン日本国特命全権大使 中村 芳夫  
趣旨説明 国文学研究資料館 大友 一雄

### 第一部 マレガ文書や日本の事例から見る保存・修復

#### <マレガ・プロジェクトによる保存管理活動と日本における文書群の保存管理>

- 9:00 アンヘラ・ヌーニェス=ガイタン (バチカン図書館)  
マレガ・プロジェクトにおける日本の古文書の調査方法について
- 9:45 青木 睦 (国文学研究資料館)  
日本歴史資料の保存理論と実践
- 11:15 増田 勝彦 (前 昭和女子大学)  
和紙に関して一文書に使われる紙と修復に使用する紙一
- 12:00 太田 尚宏 (国文学研究資料館)  
日本歴史資料の形態と種類

#### <修復技術:最新技術とマレガ文書の事例>

- 14:00 金山 正子 (元興寺文化財研究所)  
日本における伝統的な手法を応用した記録資料の修復
- 14:45 マリア・ロザーリア・カステッレツィ, シルヴィア・フォスケッティ, マルタ・グリマツチャ  
(バチカン図書館)  
マレガ・プロジェクトにおける西洋の修復家からみた日本文書

### 第二部 災害と資料レスキュー:日伊の事例(トヨタ財団助成プログラム)

- 16:15 高科 真紀 (国文学研究資料館)  
東日本大震災における最新のレスキュー修復技術
- 17:00 アレッサンドロ・シドーティ (国立フィレンツェ中央図書館)  
国立フィレンツェ中央図書館における資料レスキュー対策

## 2016年10月6日(木) 実践トレーニングとデモンストレーション

会場:バチカン図書館修復室 (Cortile del Belvedere, Città del Vaticano)

使用言語:日本語 (イタリア語・英語通訳付き)

- 9:00-17:30 実習内容:文書の展開、紙縫りの作り方、解綴方法、部分修復、裏打ちなど。
-